

二福地区社会協同組合

積極的に参加しよう!!

2021年6月

三福地区福祉協議会 発行責任者 林
広江憩の家 編集 野原 紀代子

☎086-455-4013

地区社協は、17年前三福地区社会福祉協議会として発足しました。

構成は、呼松・広江の町内会、民生委員、婦人会、愛育委員、栄養委員、老人クラブの役員で組織しています。目的は福祉に関する全てですが、今は高齢者が元気で長生きできる環境整備や支援をしています。

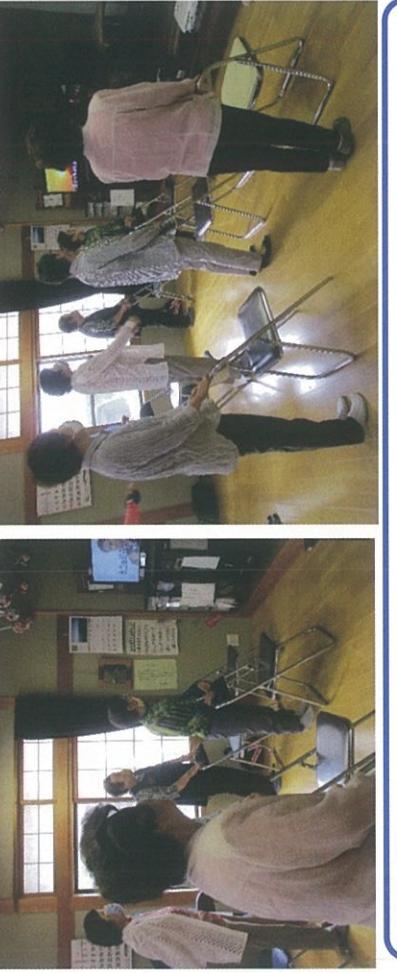
具体的には、健健康保持の為の運動、交流、バランス良い食事を基本と考え、集会や訪問等行事を通して活動しています。又、介護保険のお世話になる人を一人でも少なくしたいと願い、脳梗塞、認知症の早期発見と血圧計を憩の家、保健の家に交互に設置し、おかしいと思わいたら病院で精密検査を受けられるように呼びかけています。

令和2年になって、2月にコロナウィルス感染のニュースを知り、4月に緊急事態宣言が出され、広江憩の家は4月20日から5月20日まで休館となりました。私たちにとって初めての経験で、そして、広江憩の家から発信していたイベントが皆さまに届くよういろいろ模索した1年でした。

広江・呼松 合同グラウンドゴルフ大会、ミニ健康まつり、流しそーめん交流会、各地区の生き生きサロン、男の料理教室、ふれあいもちつき大会、ハイキング・・・・と軒並みに中止になりました。

色々検討しながら、マスク作り、サロン補助金申請、そして今、広江地区フードシェア会（毎月第1日曜日開催）を始めました。

シユウイチ100才体操 R2.4～R3.3



300万歩ラリー R2.4～R3.3



マスク・フェイスシールド着用しての100才体操は大変です。
100才体操前にかかと落とし体操を、骨粗鬆症防止の為追加。

令和2年度 広江地区、敬老の日行事参加者への記念品「エコバック」作り R2.3.11～R2.5.20 (休館中は自宅)

令和2年2月・3月のイベント「ひなめぐり」(倉敷ライバーパーク)はコロナウイルス感染の中、無事終わることが出来、3月8日「ひなめぐり」の後片付けも終わりました。お手伝いをして頂いた古城池高の生徒さん地区のボランティアの方々、本当にありがとうございました。

そして、毎年恒例の、敬老会当日参加者への記念品「エコバック」作りに取り掛かりました。3月11日から4月19日まで憩いの家で生地選び、裁断、配色など話し合ながらの作業でした。広江憩の家の休館中（4月20日～5月20日）は憩いの家で出来なかつた分を各自自宅での作業で、約200枚のエコバックを完成させました。

コロナウイルス感染予防のためのマスク作り

令和2年5月21日～令和3年2月4日 約9か月間

令和2年4月、緊急事態宣言が出て、自分用のマスク作りをしている私達に、倉敷ライバーパーク地区担当、生活支援コーディネーター坂本氏から晒生地がありました。1反（10m）から28枚出来ました。4月21日、70枚を三福小学校へ、70枚を倉敷市協へ提供。休館明けの5月21日から晒生地を提供して頂き、1反から40枚作れる西村大臣風マスクを約1000枚作りました。6月中に広江保育園・三福保育園・まこと保育園・福田南中・民主委員（広江・呼松）三福小・憩いの家利用者・あさひ幼稚園・二福幼稚園・三福児童クラブ・もちっこサロン・倉敷市協へ提供しました。

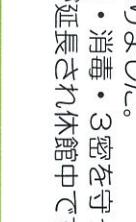
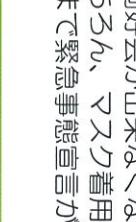
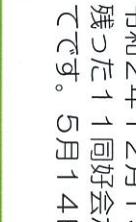
7月から敬老の日記念品として、イベントが出来ない為、該当者全員（広江・呼松）に約1300枚作り、9月に配りました。12月には三福小の生徒全員にクリスマスプレゼントとして、ピンクとブルーのマスクホルダーとセットで310人分贈りました。全部でマスク約400枚、マスクホルダーを約500枚作りました。皆さんに喜んでいただきました。



倉敷市通りの場新型コロナウイルス感染症対策用品購入補助金申請活動 令和2年9月～令和3年3月

令和3年9月初めに、倉敷市協水島地区担当生活支援コーディネーター坂本氏から、「倉敷市通りの場新型コロナウイルス感染症対策用品購入費補助金」の情報を頂きました。資料によると、新型コロナウイルス感染症の影響により自粛されていた高齢者の「通りの場」の活動の再開・実施をするために衛生用品等の購入費の助成を行います。条件として、倉敷市に住所を有するおおむね65才以上の高齢者が5人以上在籍し、月1回以上介護年に資する。活動を行っている住民主体の通りの場である事です。

補助対象 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため購入した、マスク、手袋、消毒液、体温計、扇風機の他、消毒や換気、環境整備等に使う消耗品及び備品の購入に要する経費。広江憩いの家には40以上の同好会があり、各自活発な活動をしていました。このコロナウイルス感染症の拡大の伴い、利用者様が感染を恐れ足が遠のくようになりました。そのような時に感染防止のマスク＆フェイスシールド・消毒器&液・飛沫プロッカーペーパータオル&ケース等を頂けて、3密を避け、距離を保ち、消毒・換気等、二重三重と気を付けて活動を続けることが出来ていました。8組の同好会（詩吟・フラダンス・カラオケ①・カラオケ②・男の料理・料理マスク工房・手作り手芸・100才体操）の代表者が、各自必要な用品を申請購入しました。



令和2年12月15日から声を出す同好会が出来なくなりました。残った11同好会が細々と活動。もちろん、マスク着用・消毒・3密を守つてです。5月14日から6月20日まで緊急事態宣言が延長され休館中です。

広江地区フードシェア会

R3.1.27 ある人から、このコロナ禍で困っている人に「畑にある野菜類を食べてもらいたい」「配りたいけど、肩書きの無い者がどこまでやれるのか?」の話を聞いて、倉敷市協水島地区担当の生活支援コーディネーター坂本氏に相談。R3.1.28 「互近助パンドリー」のパンフレット持参。R3.2.3 に改めて林三福地区社交協会長、三宅勲相談役、渡辺謙一連合町内会副会長憩いの家担当、有志メンバー集合、内容を聞きました。R3.2.5 呼松三共水産様が協力したいと、有志メンバー・社協会長林氏・コーディネーター坂本氏が再度集合話し合いを重ね、場所は広江憩いの家、3月からスタート、月1回、第1日曜日、担当者憩いの家有志メンバー。のぼり旗・順番札・提供者の名札作り等・口コミでの品物集め・チラシを数か所に張って宣伝と、コロナ禍での注意事項を徹底して、R3.3.7に臨みました

準備期間 R2.2.10～R2.3.6

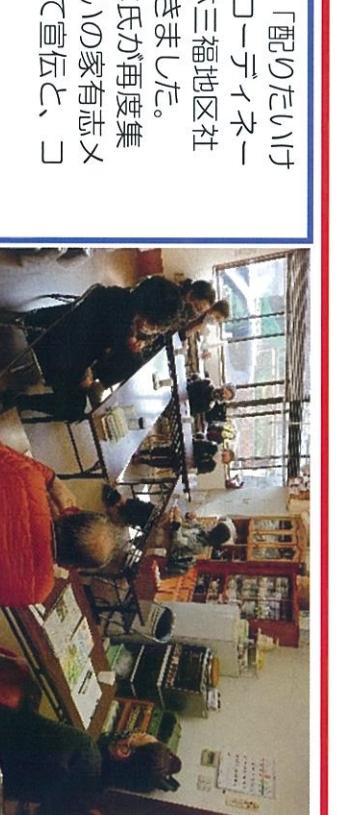


令和3年3月13日（土）くらしき健康福祉プラザにて

「共生社会の方を考える」
倉敷市、市社協フードラム
実践発表「広江地区フードシェア会」

林栄一・野原紀代子
3月7日に済ませたばかりの、初めてのイベント「フードシェア会」のことを発表しました。立ち上げから準備、そして実行するまでの過程を。出来るかどうか？来場者が何人？品物はどうやって集めるのか？やってみて人の温かさを感じました

第1回 令和3年3月7日（日）晴れ



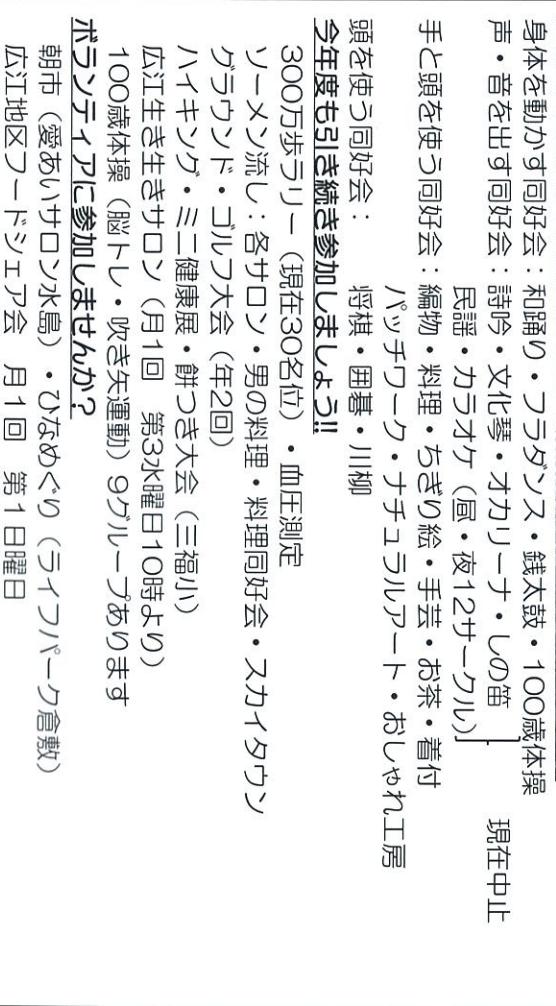
第2回 令和3年4月4日（日）くもり→雨



提供品が多くあり、イベント当日も野菜が集まり、10時開催までに処理済み共水産のお魚加工品を、ご提供頂き大変好評でした。

天候が悪く来て下さるかなーと。皆さん早めに来られて早めに帰られたので良かったです。お惣菜とボンヤリ子が好評でした。また、品物が余らず提供できました。

第3回 令和3年5月2日（日）くもり 強風



3回目、風が強く寒い日でした。お惣菜の煮物・天ぷら・ねぎ焼は、出来たものを家に帰つてすぐ食べれるのがいいみたいです。6月6日は中止です。残念!!